

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(5月下旬から6月上旬)と比べて①良くなっているか、②悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。		増税後4か月目となる7月に入っても、実質消費支出などをみると消費の弱含み傾向が続いている。また、消費や輸出に力強さが無く、伴って生産は弱含み、在庫も増加傾向にある。これらを踏まえると、足下の景気が3か月前に比して良くなってきているとは言い切れない。
1-2	今後の経済のリスク要因について、300字以内でご記入ください。	—	駆け込み需要の反動は徐々に和らいでいくとみているが、足下の物価上昇の影響により実質賃金は低下を続けており、このことが長期にわたって消費の水準を押し下げることが懸念される。消費水準の低下や、輸出量の伸び悩みに伴い、在庫水準が高まりつつあることも懸念点。在庫調整による生産減、賃金減、消費減という悪循環に転ずる懸念も拭えない。また、中東・ウクライナ情勢の緊迫化等、地政学的リスクが意識される状況となっており、このことが世界経済の停滞をもたらす可能性にも留意が必要である。
景気回復の拡大に向けた取組			
2-1	安倍内閣の目指す、経済の好循環シナリオについて、ご意見があれば、300字以内でご記入ください。	—	これまで続いてきた賃金減、消費減、生産減の循環を逆回転させ、経済の好循環の実現を目指すシナリオは高く評価できる。政府は、消費水準の低下リスクに対応する対策を考える必要があるが、企業側も好循環の持続に向けて、消費者の潜在需要を掘り起こし、生産性を向上させるとともに、賃金上昇・雇用拡大の役割を担う必要がある。
2-2	設備投資・企業収益、賃金・雇用、そして消費の拡大について、それぞれ進展しているとお考えになるか、「Yes」、「No」で選び、その理由及び今後の課題等を300字以内でご記入ください。 ①設備投資・企業収益の増加	No	経済同友会が2014年6月に実施した景気定点観測アンケートでは、調査時点から年後半にかけて景気が拡大するとの回答が多くみられている。また、設備投資額についても、2014年度は前年度に比して増額するとの回答が多数を占めた。ただし、円高修正が一服していること、輸出の伸び悩み、個人消費の落ち込みなどから足元の企業収益は伸び悩んでいるものと見られる。また、需要が弱まっていることから、設備投資についても慎重なスタンスに転じる可能性がある。一方、人手不足感が強まりつつあることや、既存設備のヴィンテージが上昇していることを踏まえれば、省力化・省エネ投資に対する意欲は存在すると考えられる。

質問事項		選択式回答	記述式回答
2-2	②賃金上昇・雇用拡大	Yes	有効求人倍率はリーマンショック前のピークを超える水準にあり、雇用の拡大および名目賃金の上昇傾向が続いている。ただし、経済同友会が2014年6月に実施した景気定点観測アンケート調査結果によると、雇用人員について製造業において過剰感がある一方で、非製造業においては不足感が強まるなど、雇用のミスマッチは依然として存在している。一層の雇用拡大のためには、こうしたミスマッチを解消する取り組みが必要である。
	③個人消費の拡大	No	駆け込み需要の反動に加え、物価上昇により実質賃金は前年比減少が続いているほか、天候不順の影響もあり、個人消費はやや弱含んでいると考えられる。ただし、物価・賃金の上昇傾向が当面続くと期待が広く共有されれば、消費は拡大基調に転ずる可能性があると考えられる。
2-3	<p>昨年、経済の好循環に向けて、政労使会議が立ち上がり、「経済の好循環実現に向けた取組」との文章がまとめられました。</p> <p>その中に記載されている4つの取組(賃金上昇、中小企業等支援、非正規雇用労働者の処遇改善、生産性向上・人材育成)について、取組が進んでいるとお考えになるか、「Yes」、「No」で選び、その理由及び今後の課題等を300字以内でご記入ください。</p>	Yes	現金給与総額は2014年3月以降プラスに転じており、労使による賃金上昇に向けた取り組みは着実に実を結んでいると言える。また、常用雇用(一般)は長らく伸び悩んでいたが、2014年1月以降は0.6~1.0%のプラスを確保するなど、正規雇用化への取り組み等の処遇改善は着実に進捗しているものと考えられる。
自由テーマ		-	質問2-2①での回答の通り、需要の見通しに不透明感が増していることから、企業は設備投資に対して慎重なスタンスに転ずることが懸念される。設備投資による生産性向上、待遇改善の好循環の持続性を高めるために、省力化投資、省エネ投資などを後押しする政策を期待したい。
3	その他、政府の政策課題等について、ご意見があれば、300字以内でご記入ください。		